

4. 身の安全の確保が図られると判断される対策の例

建築物の高床化や盛土等の対策により、垂直避難が可能な居室(浸水しない居室)が設けられている場合に、居住者の身の安全の確保が図られていると判断します。

A 建築物の高床化や盛土等により対策されていると判断できる例

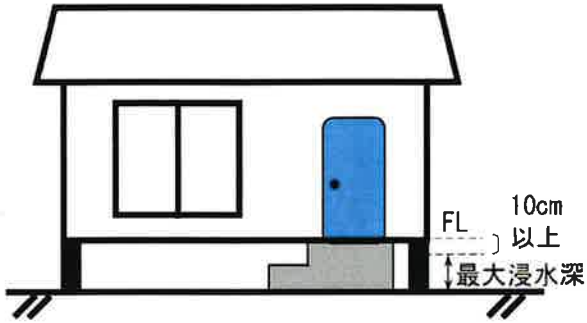


図1 建築物の高床化による対策

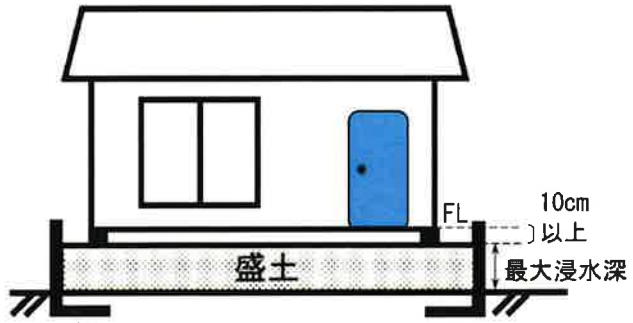


図2 盛土による対策

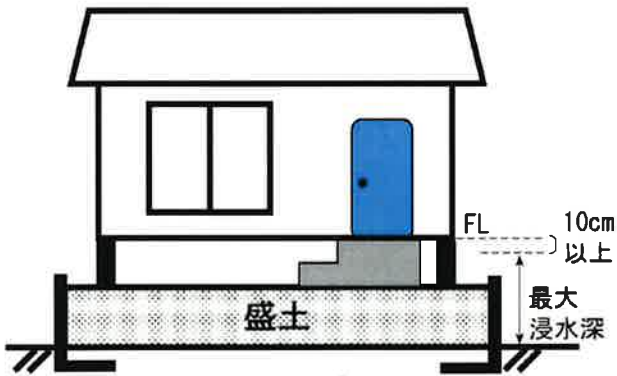


図3 盛土+建築物の高床化による対策

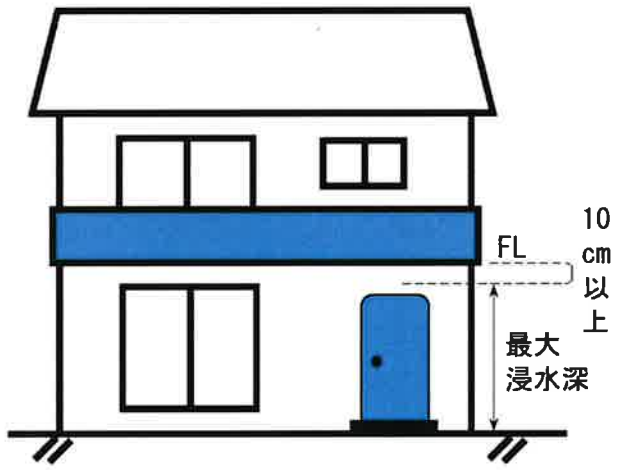


図4 上階に避難可能な居室を設ける対策

B 建築物の高床化や盛土等による対策がされていると判断できない例

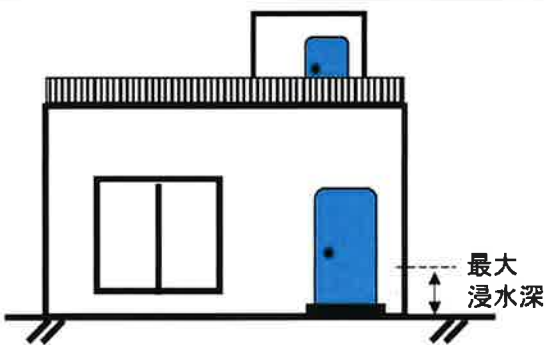


図5 屋上に避難可能であっても居室ではないので不可

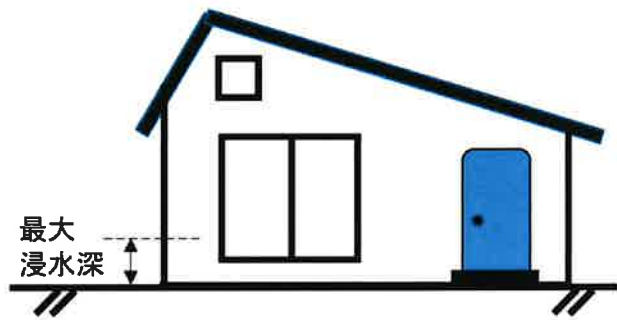


図6 上階に小屋裏収納がある場合、小屋裏は居室ではないので不可

《お問合せ先》

開発許可申請窓口：建設部 開発指導課 審査担当（内線：4247）

住所：〒370-8501 高崎市高松町35番地1 TEL：027-321-1356